

NYKU651760 1

NYKU59578 2

TRLU 4285789

NYKU661756 0

YSA 292 563

NYKU5933304

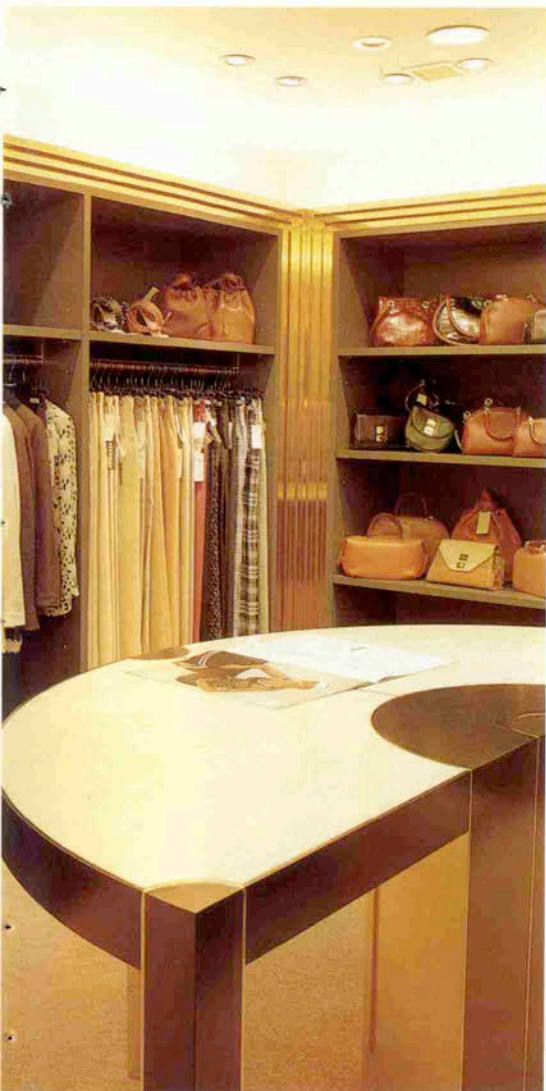
ESTU 4716152

NYKU657682 0

TRLU 4334087

旧居留地散歩 ④1

PRODUCED BY KOBE DAIMARU



エレウノ神戸店

神戸市中央区明石町47

ニッケビル1F・ブロック47

TEL(078)333-6565

(水曜定休)



errenno

エレウノ・ブロック47

ベーシックでエレガントなスタイルと、確かな服づくりで知られるエレウノの大きな特徴は、素材のすばらしさです。軽さを求め、重たない素材は選びません。従って、たいへん着やすいのです。シンプルでありながら、心地の良い優雅さが生まれるのです。ミラノのおしゃれ心の極致といえるでしょう。9月より、フィレンツェ生まれ「デズモ」のバッグコーナーがオープンいたしました。



DESMO
FIRENZE

ハンドバッグ(茶).....78,000円
ハンドバッグ(黒).....88,000円
ショルダーバッグ(黒).....64,000円



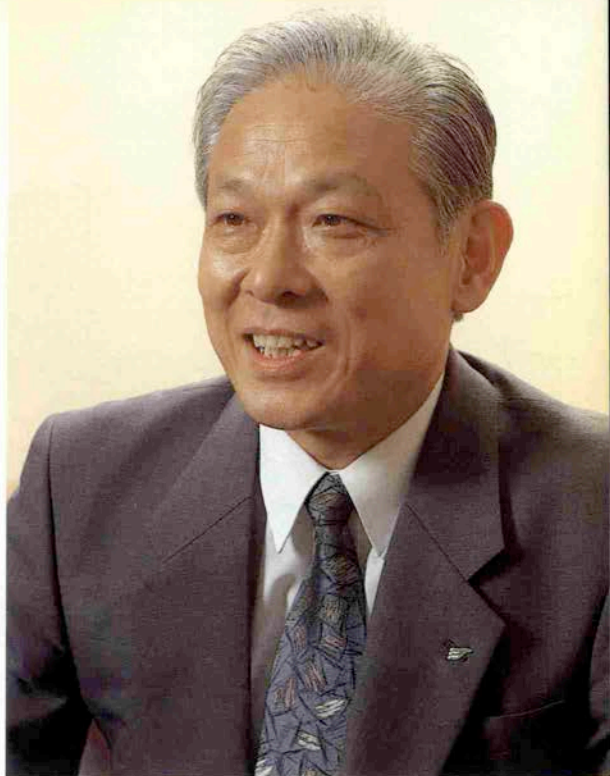
ジャケット(コットン100%).....110,000円
ブラウス(レーヨン71%ウール14%ナイロン4%)58,000円
パンツ(レーヨン52%ウール34%ナイロン14%)64,000円



ジャケット(ウール100%).....120,000円
ブラウス(シルク100%).....98,000円
スカート(シルク98%ナイロン2%)40,000円

※表示価格には、消費税は含まれておりません





設楽 勝（しだら・まさる）1933年生まれ。1955年東京大学卒。同年、日本生命保険入社。代表取締役副社長を経て、1994年7月新星和不動産代表取締役社長就任。

●編集長インタビュー

〈住いを語る〉

“安全・健康・やさしさ” の住いづくり

設楽

勝さん

（新星和不動産代表取締役社長）

成熟した鈴蘭台の「星和台」や北神の「星和台」に、神戸の「いい住い」づくりを続ける新星和不動産。川西・猪名川の「日生ニュータウン」でもグレードの高い邸宅街をつくり、「住いへの夢」を広げている。

そこで今回は、40年近くにわたる日本生命勤務を経て、新星和不動産の代表取締役社長に就任された設楽勝さんに、「住いを語る」をテーマにお話しいただいた。

★生保は「人生産業」

——長年ニッセイマンとして歩んで来られたわけですが…。

設楽 長いだけが取り柄で（笑）。昭和30年に入社して以来、社内外を問わず多くの方々とおつきあいさせていただきました。人とのつながり・結びつきは、人生の一番の面白さですね。

生命保険は、お客さまとの長いおつきあいですから、「人生産業」なんです。ただ保険の契約をいた

だくということだけでなく、豊かで潤いのある人生に貢献していくことを念頭にやっています。——お住いはどちらだったんですか？

設楽 大阪がかなり長かったんですが、日本生命という会社は転勤が多くて（笑）。その代り社宅制度が充実してまして、ずっと社宅住いだったんです。「いつでもどこへでも行ける」体制で…（笑）。昔は先輩から、「若くして家を建てるのは仕事をしない証拠」と言われてまして、それを信じていたんです（笑）。

ところが、さすがに時代が変わってきましたね。金融制度が非常に発達して、20、30代で家が持てるようになりました。国や金融機関、企業の住宅に関するローン制度が整備されてきましたから。昔は銀行でもそう簡単に貸してくれませんでしたし、会社のローンも50歳以上からとかね。

とにかく、個人の住宅についてあまり偉そうなことは言えないんです（笑）。

★住宅はロマンの集約

——新星和不動産の社長にお就きになって、いかがですか。

設楽 生保が人生産業であるように、住宅もその中核を成すものです。「衣・食・住」のうち「衣」や「食」でわりあい短期の充足がされても、「住」で長期に充足がなければ、本当に豊かな人生にはならないでしょうね。日本がこれ



千里住宅公園モデルハウス“グランデール”

が、あまりにも客観情勢が厳しいですね。

だけ豊かになりながら、なんとなく貧しさを感ずるのは、“住”があまりにも貧弱だからです。外国へ行くと痛感させられます。民間の企業の努力だけでは如何ともし難いんですが、やはり国を挙げて、税金・土地を含めての住宅問題に取り組んでいかなければならないと思います。

我々としては、良質な——
——にいま住めれば良いというのではなく、10年20年と住んでみて、良かったなと思っていただけのような住宅を、可能な限り適正な価格で提供したいと思っているんです。

住宅に関しては日本人全体が飢えてますから、潜在需要はかなりあるんです。いまの自分の収入では買えないから我慢している人が沢山いるだけであって、実際は売り手市場なんですよ。ですから、巧みにやれば儲けることができるんじゃないでしょうか。我々としては儲け主義ではやっていきたくないですね。

——新星和さんは、常に良質なものを提供しておられますね。

設楽 星和住宅・星和地所・新星

開発の時代から、建物

に関しては御好評をい

ただいております。こ

れだけは住んでみない

と判りませんから……。

最近ではプレハブ住宅で

も見映えのいいものが

あるんです。我々も時

代の流れの中で外観に

気を配るということとは

ありますが、やはり良

質なものにこだわって

いきたいですね。住宅

は、人間のロマンの集

約ともいえるものです

から。

★“安全・健康・優しさ”

——“いい住い”に求

められているものとは

何なのでしょうか。

設楽 いい住いには三つの魂が必要なんです。これは、生保が社会

に提供しているものと同じで、安

全・健康ということですよ。もうひ

とつは、村山首相じゃないですが

(笑)優しさということ。高齢者と

の二世帯・三世帯住宅も増えてき

てますしね。外観や仕様は、世間

やお客様のニーズに応じて変化し

ていきますが、基本的にはこの三

つの魂を常に反映させていかなければ

なりません。具体的に家を作

るときに、“安全性・健康・優し

さ”が、どのように盛り込まれて

いるかを検証しながらやっていき

たいと思っています。

——村山さんも、だんだんと人気が

が出てきたみたいで……(笑)。

設楽 人柄でしょうね(笑)。あま

り自己顕示しないところがいいん

でしょう。家でも、そういうた

ことが表面に出ますと、鼻につ

ますからね。やはり何十年もお使

いいたくものですから、じわじ

わと味の出てくるものを提供して

まいりたいと思っています。

夢にカタチ 空間にいのち

SINSEIWA
新星和不動産

本社 大阪市北区西天満 5丁目14-10
梅田UNビル 4F
神戸支社 神戸市北区鳴子 2丁目17-2
☎078-593-7072

誕生 '95神戸ハーバーランドニューオータニ婚礼プラン

衣装が自由に選べるプラン

Dress Queen ドレスクイーン

新婦のお衣装は、ホテルにある
全コスチュームの中から2点、限定なくお選びいただけます。
その他特典も多数ご用意しております。

40名様 **¥1,160,000** (サービス料・税金込)

※1名様追加料金 ¥18,000

期間●1995年4月1日(土)より

'95年6月～'96年2月の全日/平日、仏滅の土曜・日曜・祝日/ゴールデンウィーク(4/29～5/7)
(上記以外の期間はお変更は限定させていただきます。)

人前式・仏前式も承ります。



MENU

おつまみ(お控え室にて) スモークサーモンと海の幸ミルフィーユのデュエット
特製コンソメ“ラ・ノス” 伊勢海老黄金巻焼きチルドール
ビーフパイル肉ソテー マデラソース 旬の滋養菜添え
グリーンサラダ シュリー風味ドレッシング
ホワイトアイスクリーム フランボワーズソース添え
特選メロン コーヒー・小菓子 フレンチロール・バター



The New Otani



KOBE HARBORLAND

お問い合わせ・宴会予約直通
フリーダイヤル 0120-193390
(受付10:00～19:00)

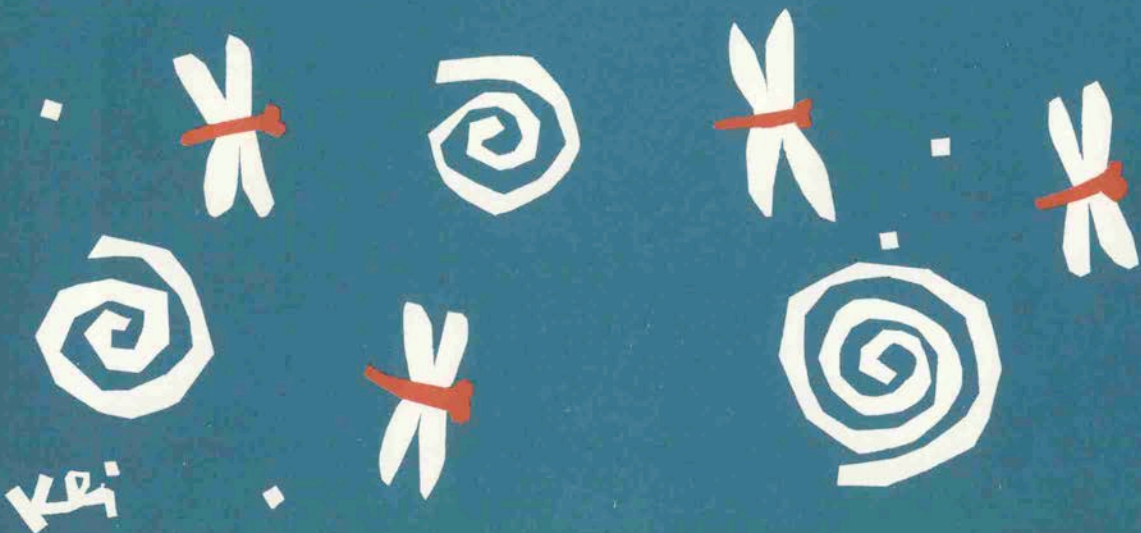
これは神戸を愛する人々の雑誌です。
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です。

9月号目次 ● 1994 401

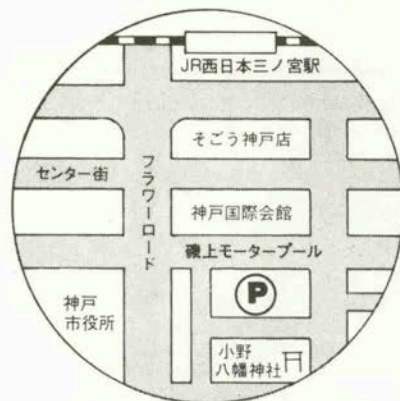
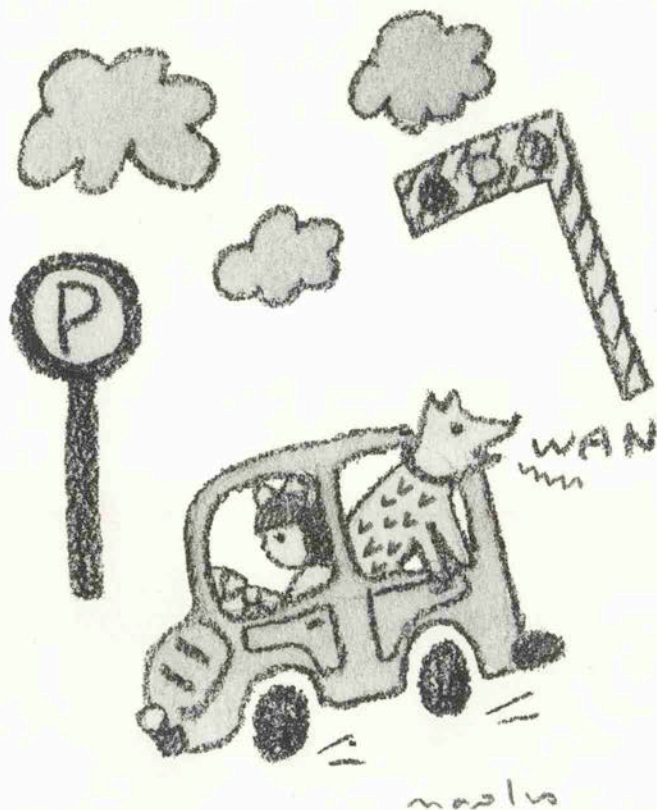
表紙／小磯良平シリーズ「少女と猫」
セカンドカバー／西村 功「柴田喜吉洋服店」
目次／福井恵子

- 11 神戸っ子94／広川裕子・鈴木 漢
14 ある集い／元町70年記念事業委員会・さんちかもぐら会
16 コウベスナプ／開港開港・神戸マリンルート開港
18 美の扉⑥／「月に遊ぶ」榎本靖子 撮影・米田英男
20 神戸色模様⑦／「積木するコンテナーたち」石阪春生
31 私の意見／「神戸の海から世界の空へ」緒方 学
33 ポエム・ド・コウベ／「トマトのきぶん」杉本深由紀 絵・石阪春生
34 随想・旅のかたち⑦／「今年も」安水珍和 絵・中西 勝
36 私と神戸／「神戸の思い出」中川隆進（絵も）
38 地域文化論／「庄下川水まつり」米花 絵
40 浅井信雄対談シリーズ②／ゲスト・諸岡博照
46 結婚特集Ⅰ／対談・蜂須賀弘久・伊藤ルミ
52 結婚特集Ⅱ／座談会「神戸新婚物語」司会・桂小米朝
58 JCI神戸大会を成功させよう⑦／「神戸ホリデーは市民参加のプログラムです」
もうさんのひょうごウオーク／「周産期医療システム」大橋正伸・中尾秀人
タカラヅカとミュージカル／謝 珠栄と福井貴一
62 KOBESHOP③／「天使達の肖像・猪塚美奈さん」上野信二
66 神戸のお嬢さん／木村安奈・須崎有加子
67 但馬見聞録⑦／「但馬に行くならまずココから・生野町」
91 亀井一成のスチーム・IN・ZOO／「日本初 カバの人工保育」
96 有馬歳時記⑥／「6代目ゆめたレディ誕生」
98 神戸を福祉の街に／「有料老人ホーム エリーネス須磨」を訪ねて／橋本明
100 久保律子の何でもチャレンジ②
106 KFSニュース／「KFS 20周年記念イベント開催」
108 神戸百貨店会だより
110 シネマ試写室／「バルブ・フィクション」淀川長治
112 ポケットジャーナル
115 ぴつといん
116 るば・えっせい神戸／「ハリンの神戸時代を訪ねて」河内厚郎
120 第18回神戸文学賞佳作／「イノセント・イモラル・マミー」③
125 佐々木 絵・土井 絵
140 神戸っ子倶楽部会費情報
142 北野マッパ
144 海・船・港／「中央区海の盆踊り94&メリケン地蔵盆94」
146 墨いろでつづる恋歌・源氏物語Ⅱ／「松 風」
148 葛納千紗子の「宇宙」⑨／「月」

カメラ／米田定藏 池田年夫 松原卓也 森田純三 米田英男



ビジネスに!
ショッピングに!
ご利用ください



磯上モータープール

● 収容台数 350台
● 月極 駐車可
● 年中 無休
(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)



MACのお客様／蔵本良子さん・橋本佐恵子さん

まっていたの…私の秋。



GIO SPORT

- 左／ジャケット ￥39,000
- スカート ￥22,000
- リブジャージー ￥9,000
- 右／ベスト ￥26,000
- シャツ ￥29,000
- スカート ￥20,000

MAC
SINCE 1895 KOBE

HEAD OFFICE 7F NEW CENTER 1-6-22/SANNOMIYA-CHO CHUO-KU KOBE CITY 078-392-1651
 SANNOMIYA MAC SANNOMIYA CENTER-GAI 1 078-391-0895
 THE BLAZER SHOP MAC TOR-ROAD 078-391-0896
 GS MAC SANNOMIYA CENTER-GAI 2 078-332-0141
 PLENTY MAC SEISIN PLENTY 2F 078-992-0088
 FESTA MAC HIMEJI FESTA 2F 0792-89-4738
 SUNVIOLA MAC TAKARAZUKA SUNVIOLA 3F 0797-71-4830



神戸ハーバーランド地下街

ショッピングモール **2周年**
デュオこうべ

ハーバーランドの表玄関・デュオこうべ。ショッピング、グルメに加え、くつろぎやうるおいあふれる街——神戸駅を降りたら始まります。

山の手



浜の手



DU  **KOBÉ**
 HARBOR LAND

営業時間／午前10時～午後8時・飲食店は午後9時まで
 定休日／毎月第3水曜日

□私の意見

神戸の海から 世界の空へ

緒方 学

△神戸市助役▽



山と海があり、住みややすくエキゾチックでお洒落な街というのが神戸の一般的なイメージでしょうか。事実、好きな街を問う各種アンケート調査では、多くの都市を抑えて神戸が上位を占めることが多いようです。

また神戸は、長い歴史を持つ国際港湾都市でもあります。昔から港は、人・物・情報の交流拠点でしたが、二十一世紀に向け、その拠点は海の港から空の港へと移りつつあります。

折しも九月四日、関西国際空港が開港いたしました。世界の空に向けての玄関口が開かれたことは、関西全体にとって誠に喜ばしいことです。

そこで、神戸としては、関西との最短アクセスとして「神戸マリンルート」を開設いたしました。神戸マリンルートは、ポートアイランド（Ⅱ期）の神戸シテイエアターミナル（K-CAT）と関空との海上を超高速旅客艇神戸ジェットシャトル（K-JET）により約三十分で結び、また神戸市街とK-CATを神戸リムジンバスで結ぶもので、まさに国際港湾都市神戸にふさわしい魅力あふれるルートです。特にK-JETは、航海速力四十三ノット（時速約八十km）を誇るだけでなく、三・五mの高波や毎秒二十mの横風にも船体が傾くことなく快適な乗り心地を提供します。そして、そこはもう空港の一部といえるK-CATでは、チェックインや出国審査等の手続きを空港到着前に済ませることができ、この機能は、法務省や航空各社のご協力により実現したものです。

また、神戸マリンルートは関空へのアクセスとしてだけでなく、ルートそのものが新たな観光資源となりますが、神戸観光のPR・セールスにご尽力いただいております神戸集客観光推進協議会の皆様に深く感謝の意を表します。

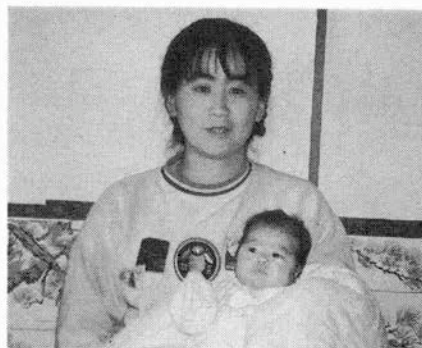
若い女性を中心に人気の高い神戸ですが、街としての「力」という点では、まだまだ不足しています。例えば遊ぶ場所が多いが若者の働く場所が少ないということが挙げられます。関空開港を起爆剤に、空の時代に対応できる「力」と、住みやすさとのバランスのとれた街づくりを進めてまいりたいと思っています。



SAMOTO CLINIC

佐本
産科

ママといっしょに



赤ちゃん：東口 雪奈ちゃん（平成6年1月10日生まれ）

ママ：美紀さん

「誰にでも優しい子であってほしいです」

★ 佐本産科・婦人科 ★
佐本 学

神戸市兵庫区中道通 4-1-15

☎078-575-1024(病室) ☎078-576-9639

市バス上沢 4 停南スグ

●駐車場完備●

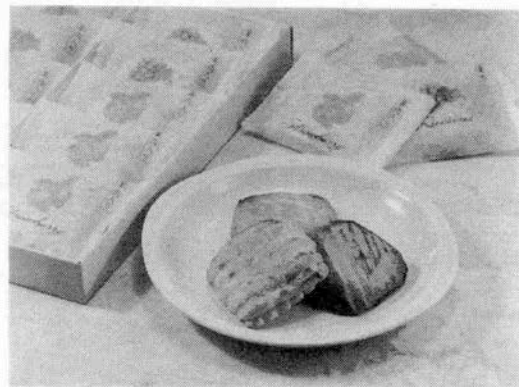
神戸フルーツ・クッキー

“フルーツ・クッション”

ケーキみたいなソフトクッキー。

フルーツピューレを包んで、

ふっくらと焼き上げました。



～ストロベリー・アップル・レーズン～

10枚入り ￥600

18枚入り ￥1,000



株式
会社

北 欧 の 銘 菓

2-ハイト・コンフェクト

本 社 〒651-21 神戸市西区北別府2-1-2
TEL.(078)974-9756 FAX(078)974-9758
大阪営業所 〒558 大阪市住吉区対田町7丁目12-19
TEL.(06)697-9435 FAX(06)697-4188

東 京・名 古 屋・大 阪・神 戸

トマトのきぶん

杉本 深由起

絵／石阪 春生

お日さまに向かって

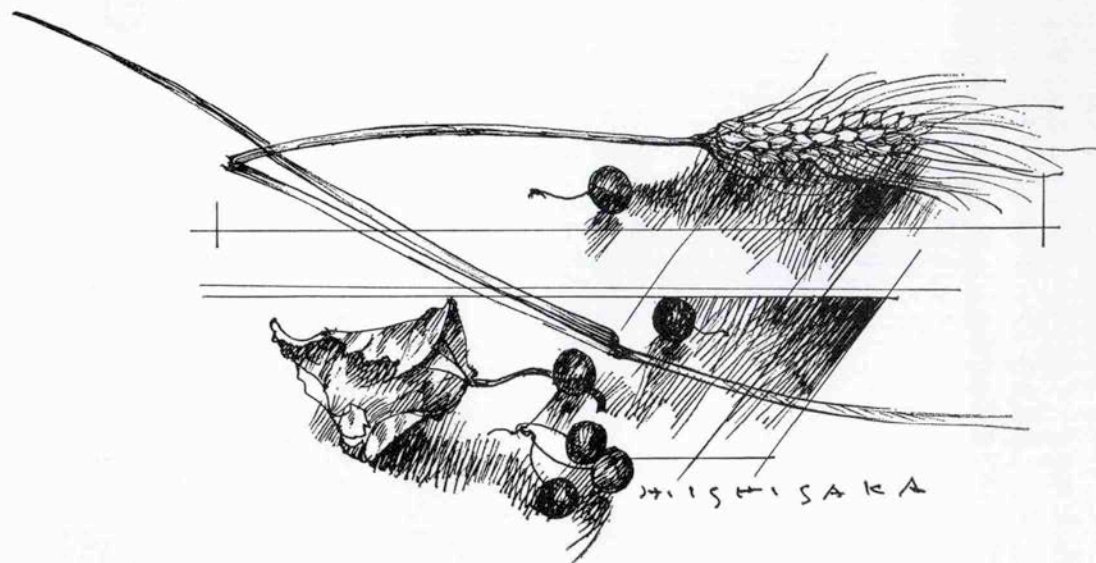
目をとじました

すると

たちまち世界中まっかになって

トマトになった きぶんです

あなたの声にもがれるまでは



随想

旅のかたち

27

今年も

安水稔和

絵／中西勝

△詩人▽

今年も秋田に出かけた。今年の菅江真澄研究会は秋田県湯沢市であった。はじめは、ほととゆで降りて湯川温泉に泊って次の日に湯沢に入つた。ところが九州に台風が近づいていて、それも列島縦断のおそれもあるという。これはやばいかな。案内書で見ると、昔の写真だろが、川の斜面に木造建築の宿がずり落ちそうに積みあげられている。それで、ほととゆだはパスすることに。北上線をそのまま横手まで乗って湯沢近辺に泊ることにして、いつものように電話で宿をとる。

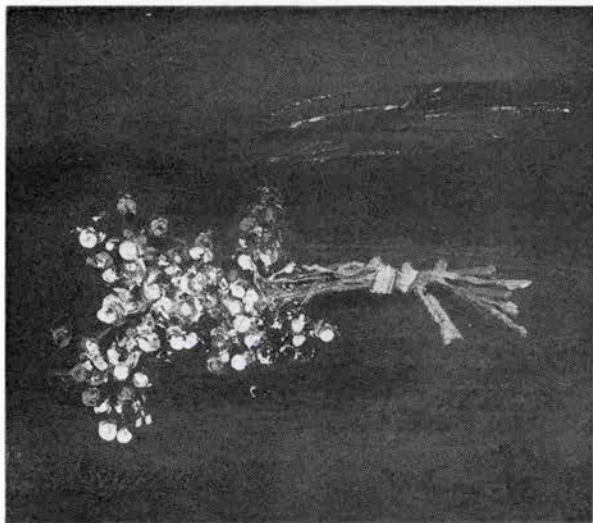
次の日。新幹線乗り継いで、北上で北上線に乗りかえる。ほととゆだでは、雨は降っていなかったが、昨夜からその日の午前にかけてだいぶ降ったらしい、川もダム湖も赤い泥水。横手で、稲庭うどんの立ち食い、奥羽本線に乗りかえて南下。湯沢を過ぎて三つ目の横堀で下車。激しい雨。駅前広場は川のように。バス停の前の民家に駆けこんでバス待ち。白くしぶきをあげて降っていた雨はやがてやみ、道のむこうの家と家のあいだから拭いたように県境の山が見えてきた。日がさしはじめる。鳥が飛ぶ。軒先から落ちる水滴。旅先のえも言われぬひととき。やってきたバスで小一時間。

山あいの溪流ぞいの宿、鷹の湯温泉に泊る。一晩中、水の音。

次の日。向う岸の朝日を浴びた藤の花。大きな木を、なんの木か、藤がおおっているのだ。流れをすこしさかのぼると河原に野天風呂。とびこんで体を沈めて見あげると。頭上は緑。それから青空。それから対岸の山の緑。風に揺れてざわめく緑。水の音。鳥の声。日のひかり。昼前に宿を出てバスで湯沢に出る。研究会第一日目をはじめ

研究会第二日目は現地視察。泥湯、川原毛地獄、大湯滝、三途川橋、十王堂など菅江真澄の「高松日記」巡見の足跡をたどる。昼食後解散。年に一度の研究会で知り合った近藤昌一郎さん（秋田市）の案内で筏の大杉を見に行く。桐の花咲く、サクラソノの実のみのる湯沢の村から村を抜け、アカシアの花の咲く雄物川ぞいを走る。横手川にかかる柳橋を渡ると、山内村筏。三十番神社の二股の大杉が見える。大きい。社を囲むまわりの杉たちから頭ひとつ、いや肩からといううか胸までといううか、抜きん出ている。樹下に立つと圧倒されて声を失う。樹高43メートル、目通り

幹囲12メートル、千年杉として秋田県内第一級の大杉。菅江真澄が「雪の出羽路」に書き記している木である。横手駅まで送ってもらって、こまぐさ12号に乗る。大杉をいっしょに見に行ったりチャード・ジャンポールさん夫妻（神戸市）は私たちが一昨夜泊った鷹の湯温泉に泊まるということで、横堀下車。私たちはそのまま南下して山形に



入り、その日は上山温泉月岡ホテル泊。

次の日。山形新聞朝刊の第一面には、「初夏の味覚赤くまぶしく／サクランボ狩り始まる」の記事と、熟したサクランボを摘み取る観光客の写真。第二十一面には「山菜採りの遭難多発／県内既に6件／2人が死亡」の記事。JRで一駅の茂吉記念館前駅下車。斎藤茂吉記念館を訪ねる。駅舎にも駅周辺にもなんの標示もない。たずねようにも人家なく、駅は無人。突然の迷子状態。記念館前という駅をつくってにおいて案内板一枚立てないのかとブツブツ。むかいのホームに入ってきた人にたずねる。わかってみれば歩いて三分。なんとかたどりついて、受付でそのことを言うと、そうですかと言う。そうですかじゃないでしょう、遠方から来る人は困るでしょうと言うと、伝えておきますと言う。伝えますと言ったって、次の電車で来て困る人がいるかもしれないのに、紙に書いて駅にはるぐらいのこと今すぐにもできるでしょうといったらやっと、善処しますと言った。山形ことばのかわいい娘さんたち、ちょっときつい言い方だったかな。でもねえ。守谷夫妻（茂吉の甥夫妻）記念室での新収蔵品展で前登志夫さんの色紙「夕映ゆる花野にゆきて払ふべし憑きたるものを草の実のごと」を見つける。常設展示室では茂吉外出時の小用のための小さいバケツが目にとまった。ゆっくり見てまわって、いい文学館だった、駅へ戻ると、案内のはり紙はやはりなかった。上山城を訪ねて天守閣から蔵王連山遠望。城の裏手にまわると月岡神社。社前にオオテマリの白い花が咲きこぼれていた。

□随想□私と神戸

神戸の思い出

中川 隆進 たかのぶ

〈前神戸税関長・現国税庁国税審議官〉

一年間の神戸勤務から東京へ戻って、早くも一カ月半になります。今年は、全国的に暑い夏ですが、神戸の皆さんお元気ですか。

私は、その後国税庁で主として酒税の関係の仕事をしていますが、色々な酒類の生産から流通・消費まで幅広く及んでおり、税の徴収を主たる業務とする国税庁の仕事としては珍しく、産業行政も担当しているところです。

酒と言えば清酒、清酒と言えば灘ということになりますが、全国の生産の約三分の一を灘五郷が占めており、実は昨日まで、酒造会社の方々との懇談のため、帰京後初めて「懐かし」の神戸・灘へ出張しておりました。ただ、誠に残念ながら、三宮界限まで足をのばせませんでした。

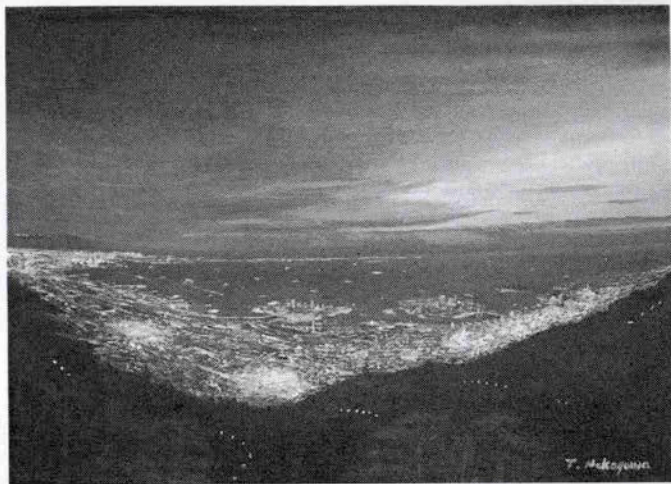
実は、神戸と私の関係は四十年近く前に逆上ります。私は奈良の生まれですが、小学生のころ、船の進水式を見に神戸まで来ました。確か三菱重工のドックだったと思いますが、くす玉が割れ、巨大な船体がレールの上を海に向けて滑り下り、浮かんたとき子供心に何とも言えない感動を味わ

った記憶があります。

その後何回となく神戸に来ましたが、確かな形での思い出となると、つい十年前程前、昭和五十九年から二年間、近畿財務局で勤務したときのこと、住まいは豊中でしたが、仕事柄兵庫県に来る機会が多く、県内ほとんどを回るとともに、そのついでに、昼間は北野の異人館や六甲山、P・I、夕刻からは三宮にも足を延ばしましたから、神戸と言えばその時の印象でした。

昨年六月、神戸勤務となり、中山手の宿舎に單身住まいをしましたが、初めての神戸生活という感はなく、また、神戸税関の管内は中国・四国も入っており、神戸を離れていることも多かったのですが、それ以外は余り東京へも帰らず、時折家族が来たりしていましたので、本当にいろいろ経験し、実に楽しく、充実した一年でした。

最大の貿易港神戸、そして神戸港と共に歩む神戸税関での仕事は、結構忙しく、一つ一つが懐かしくまた誇りに思うところですが、やはり心に残るのは仕事を離れての思い出です。



「六甲からの夜景」 著者作品

ち込んで、額縁を買い求めるものですから、宿舎の一部屋は絵で占拠され、嵩じて東京へ戻る前には税関の一室でミニ個展までやって皆さんにご迷惑をかけました。

絵の会のあと、ご指導頂いた二紀会の中西 勝先生や他の会員の方々と夜の三宮を徘徊、こちらの方も楽しみました。

三番目に、コーラス。この話をする私のカラオケ音痴を知っている人は大体高笑いするので、神戸商工会議所の「神商コーラス」で毎月一回、大阪音大足立教授・輝代先生ご指導のもと、ローレライや野ばらなどを楽しく歌わせてもらい年末にはタキシード姿で神戸歌謡祭にも登場しました。コーラスで大切なことは一人だけ目立たないことと解し、数に埋没して口を開けていました、忘れがたい思い出です。

この他、オリックス・ブルーウェーブの後援会にも加わり、グリーンスタジアムで税関の応援会の人達と一緒に旗を振ったことなど神戸の思い出は尽きません。

神戸を去る日、監視艇で最後の神戸港巡視をし、神戸の町並み、六甲・摩邪の連山などをしっかり目に刻み込み、神戸に別れを告げましたが、神戸は私にとって重ねて素晴らしい思い出に満ちた街となりました。皆さんのご多幸と神戸、神戸港の一層の発展を心からお祈り申し上げます。



△中川 隆進さんのプロフィール▽

昭和一九年奈良県生まれ、同四三年大蔵省入省、五九年より近畿財務局理財部長、六一年大臣官房企画官、証券局企業財務課長、資本市場課長、大臣官房会計課長を経て平成五年六月神戸税関長、六年六月国税庁国税審議官。

最初に持ってくるのは、ちょっとためらいますが、まずは、話の順序で週末のゴルフのこと。兵庫県は全国で一二を競うゴルフ場の多い県ですが、単身赴任の健康管理、神戸の幅広い方々との交流のため進んで出掛けました。おかげで各界の方々と親しく話ができ、また運動もできました。

次に、油絵に挑戦。週末のゴルフだけでは神戸勤務を語れないと、一念発起し、知る人ぞ知る同好会「ルネッサンス会」に入れてもらい、油絵は初体験でしたが、静物、裸婦そして港神戸や山手の風景と描き重ねました。そして、素人画家の常、出来上がると直ぐ恥も知らず加納町の美専堂に持

地域文化論

△その178▽

庄下川水まつり

— 尼崎のひとつの情報発信 —

米花

稔△神戸大学名誉教授・福山大学教授▽

まえに「神戸の川の物語」をここにのべたが（昭和六三年四月号）、こんどは尼崎の川にふれたい。「尼崎の川がすこしだけキレイになったので、すこしだけびっくりしに来てください」という「庄下

川水まつり」にひかれて、八月一日夕、その記念式典に、玉江橋のたもとまで出かけた。

式のなかで小学生代表の浄化宣言、緋鯉の放流、船だんじり、そしてライトアップなどと賑やかであった。

産業発展過程に泥の川と化していたのを、「ふるさとの川」再生を願って、尼崎市の中央を貫流する庄下川について、国、県の支援を得て、平成四年度から水質浄化短期対策事業にとりくんで、第一期事業の完成を祝っての催しであった。

へドロを浚渫して砂をいれ、護岸も逐次改修するというこの川の変身に興味をひかれて、再び日をかえて、昼間に玉江橋から下流に向って歩いた。かつてにくらべて見違えるようになってるが、たしかに「すこしだけキレイになった」程度で、整備はなお不十分で引き続き事業推進が期待される。それでも城址公園辺りの修景、川辺の小公園、緑地、散策路などホッとする部分もある。かつての地

下水汲みあげからの地盤沈下でゼロメートル地域の故に、海辺に閘門を設け、ポンプアップで水流をつくるというきびしい条件にある海辺近くである。気がつくとも庄下川水門から松島ポンプ場近くにきていた。

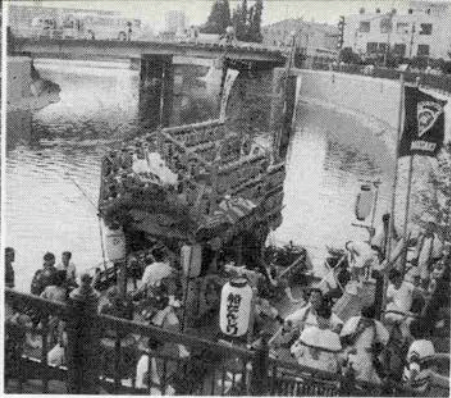
そこは想えば、昔の大物の浦あたりで、お城のできた江戸以前の、尼崎発祥の地というべき、多くの漁民の住む「海人崎」「海崎」（あまがさき）と呼ばれ始めたところという。謡曲「船弁慶」の舞台、大物の浦である。頼朝に疑われて西国落ちする義経がここで乗船する直前、弁慶の忠告でこれまで従ってきた静御前と別れを惜しむ場面である。しばしロマンにひたる。

ロマンといえは、川は不思議なムードをもつ。川をテーマとする歌謡曲、思い浮かぶだけでも、「神田川」「千曲川」「長良川」など現実の川から「忍ぶ川」「なみだ川」「さだめ川」など、ひばりの「川の流れるように」に至るまで二十数曲に及ぶ。人びとの暮らし、心の想いと密接である。

その川を今「ふるさとの川」として再生を願ってとりくむ尼崎は、同じ悩みをもつ諸都市のためのいわば「情報発信」を始めたといえないであらうか。これからに期待したい。



松島ポンプ場近くの東町緑地



庄下川・アルカイックホール前での船だんじり

全国 WATER FRONT SYMPOSIUM '94 in KOBE

●全国ウォーターフロント・シンポジウム '94 in KOBE

と き 9月23日 (祝日・金曜日)

24日 (土曜日)

ところ 兵庫県農業会館

神戸市中央区海岸通1番地 (078) 333-5951

テーマ Water Front To Public

——水際を市民に——

参加費 10,000 円

(シンポジウム・4000円、ウォッチング
1000円、懇親会5000円)

日 程

9月23日 (祝日・金曜日)

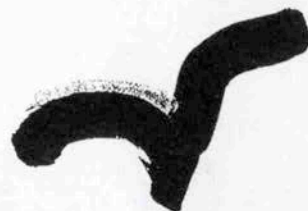
PM13:00～ タウンウォッチング
旧居留地からハーバーランドへ。※集合場所：大丸北側ガス灯前

PM18:00～20:00 懇親会
小型船にて港ウォッチングをしながら食事 (神戸のワインとパン)

9月24日 (土曜日)

AM9:00 オープニング
AM9:30～ ウォーターフロント・シンポジウム

各地からの報告、及び問題提起
AM11:30～ 幹事会報告・大会宣言
PM12:00 閉会式



神戸の21世紀を担う
ウォーターフロント

昭和63年の第1回ウォーターフロント神戸大会から、長崎、新潟、函館、横浜、福岡と毎年開催されてまいりましたが、今年再び神戸にて開催されることとなりました。

私達が生まれ、育ち、住んでいる土地を復古、再生、創造し豊かに整備する上で、「水辺がもたらす好環境が安らぎと潤いを与える」との認識から都市(まち)づくりに水辺をとりこもうとの運動が各地で盛んに繰り広げられています。

旧居留地、ハーバーランドなど沿岸施設の整備が進んでいますが、ウォーターフロント(水際)の市民利用や、そこへのアクセスはまだまだ制限されているのが実情です。

そこで、「海の水に手をひたしてみたい、水あそびをしたい」という発想から“Water Front To Public —水際を市民に—”というテーマで神戸の21世紀へ向けての街づくりについて考えたいと思っています。

主催/ウォーターフロント・シンポジウム '94 in KOBE 実行委員会

お問い合わせ/ウォーターフロント・シンポジウム '94 in KOBE 実行委員会事務局：神戸市中央区下山手通3-1-18月刊神戸っ子内

Tel 078-331-2246 Fax078-331-2795



浅井信雄 氏

〈特集〉 神戸発 情報論 浅井信雄対談シリーズ〈2〉

茶の優雅な精神の復活を

諸岡 博熊 △UCCコーヒー博物館長・中京女子大学客員教授▽

浅井 信雄 △神戸市外国語大学教授▽

★文化がクロスしていくお茶の歴史

浅井 今日では諸岡さんをお茶のゲストにお迎えしておりますので、コーヒーを巡る文化についてお話を進めていきたいと思います。

今年のように暑い日が続きますと、つい、アイスコーヒーを注文する時が多いんですが。

諸岡 あれは、日本独特の発明ですよ。

浅井 アメリカにも出始めていますね。

諸岡 最近、西海岸から東海岸の方に出ているようです。浅井 先日ボストンでも見かけまして、これは、日本か

らの逆流かなと思っていたんです。

諸岡 インスタントコーヒー、アイスコーヒー、缶コーヒーは日本の発明です。

浅井 缶コーヒーは私はまだアメリカで見えていませんが。

諸岡 ニューヨークの日本人向けのスーパーあたりでは出始めています。

浅井 アイスコーヒーは、日本でも昔はなかったと思いますが、あれはいつ頃からのものですか。



諸岡博熊氏

諸岡 日本は戦前からあります。

浅井 それが最近、外国にも出回った。

諸岡 メニューに載ったのがこの十二、三年前ぐらいですか。大体、ヨーロッパの氷は非衛生的ですから。アメリカはまだましですが。なんといっても日本の氷が一番衛生的です。

浅井 非衛生的というより、硬質の水であることが作用していませんか。

諸岡 それもあります。氷に対する考え方も、冷やすためのものであって、飲むためのものと思いません。

日本人は、アイスコーヒーを飲んで氷をカリカリッとやる。それが快感なんです。ヨーロッパの人たちは水が悪いかから絶対に出来ないです。

浅井 イギリスも、その植民地だったインドも紅茶が主流ですね。

諸岡 もともとイギリスはコーヒーの国なんですよ。

浅井 そうなんです。

諸岡 現在の新聞社、郵便や保険の制度は、ロンドンのコーヒーハウスから生まれたんです。イギリスの市民社

会が出来る頃は、コーヒーハウスの全盛時代です。チャールズ一世がピューリタン革命で殺され、あわててチャールズ二世がオランダへ逃げたら、その頃オランダには日本のお茶が入っていた。1610年に平戸から緑茶と茶道具と茶の湯の文化が持ち込まれています。それを見た彼が、イギリスへお茶を持って帰った。そのチャールズ二世が政略結婚で、下り坂の国ポルトガルの名門ブラガンザ家の娘、キャサリンと結婚するときに、持参金として、その頃一番値打のあった銀を要求した。キャサリン側は植民地のボンベイを提供し、銀並みに値打ちのあったブラジル産の砂糖を持ってきた。ですから上流階級から紅茶を飲み始めたんです。ボンベイを拠点とするインド経営のとき1823年アッサムで自生する茶の木を発見してからですよ。

浅井 紅茶が広がったのはインドを植民地にしてからなんです。

諸岡 日本から緑茶が輸出されていたんですが、鎖国によって緑茶が出なくなり、中国へ買いに行く。ところが中国は質の良いお茶を売ってくれない。もともとヨーロ

ツパは、ワインなど酸味を好む文化ですから、酸味のあるお茶が欲しかった。どうにかしたいと思っていた1823年に、アッサムで茶の木らしきものを見つけた。朝日の太陽に照らして若芽を見ると、うぶ毛がオレンジ色に見える。それが朝日の間に取るお茶なんです。それを英国でPEKOEという。フラワーオレンジペコ、ペコ、ブローケンオレンジペコ、ファイニングス、ダスト

というのがお茶の等級なんです。おいしさではなく形状で決めた等級です。見よう見真似で中国式の栽培を始めたけれども、発酵の止め方をしなかった。摘んだまま発酵した茶を乾して揉んだのが紅茶です。アッサム、つづいてダーズリンが世界のお茶の25%を占めているんです。緑茶、黄、黒、青、白、そして紅茶という6種類のお茶は、発酵止め方で分かれていくんです。いま流行のウーロン茶は半分発酵させた青いお茶。我々が飲んでいる緑茶は未発酵。弱発酵茶がPEKOEと呼ばれる白茶（白毫茶）。完全に発酵したのが紅茶です。すべて紅茶の木は同じなんです。コーヒーはレギュラー・コーヒーとインスタント・コーヒーで木の種類が違います。

紅茶文化の精神は茶の湯の文化につながる

浅井 欧米のモーニングティとかアフタヌーンティという習慣はなかなか優雅でいいですね。

諸岡 イギリスの貴族階級は、朝遅く起きるのが自慢なんです。お茶を飲みながら昼頃までベッドの中にいるんですよ。

浅井 私がインドに2年いた時、召使いが5、6人いました。私は仕事で行っていますから、モーニングティではなくてモーニングコールが必要だったんですね。結局お茶を持ってきて起こす形になって。なかなか気分が良かったんです。しかし、日本にモーニングティとかアフタヌーンティの習慣が根付かないのは、日本人の性格によるんでしょうか。

諸岡 勤勉だからでしょうね。上流階級は召使いがいっぱいいて、することが何もないですから習慣になる。

浅井 先日アメリカを旅行してましたら、「我がホテルの自慢はガーデン・テラスでのアフタヌーンティだ」と書いてある。3時、4時になるとみんな集まってくる。優雅にお茶を飲みケーキを食べているんですよ。日本のホテルではそういう光景を見ないですからねえ。コーヒーを飲んでいるとしても、仕事のために飲んでいまずから。

諸岡 コーヒーとかお茶は生命には必要ないんです。なくとも生活できるんです。しかし生活のためには必要なんです。「お茶を飲みましょう」はイコール「おしゃべりしましょう」なんです。ゆったりとして会話を楽しむのがお茶やコーヒーを飲むことなんです。

浅井 気分が安らぐという効果もありますし。

諸岡 平戸からオランダ人は、緑茶と茶道具と茶の湯の文化を持って帰り伝えるわけです。それをオランダで遊んだチャールズⅡ世がイギリスに帰って紅茶の文化——横文字に直した。紅茶の文化にはいろいろなルールがありますが、それは茶の湯に通じている。茶の湯では、神仏を話してはいけない。それをイギリス流に翻訳すると自分の主義・主張を語らない。身内の自慢話をしないという所も符号します。しゃべって良い3つの話題も、全く共通なんです。出されたお茶の話、出されたお菓子の話。招いてくれたホストの心遣い。つまり、あいさつの仕方ともてなしが中心です。

浅井 日本の茶の湯文化にしても、遊び人の殿様が居た土地で発達しました。そこでは和菓子がいい伝統として残っていますねえ。昔はそういうものを楽しむ風風が日本人にもあったわけですね。

諸岡 茶の湯を楽しむのは優雅です。

浅井 そうすると、日本にせよ西洋にせよ、お茶を飲むことはいつともゆとりとか優雅さに結びついてたことになりそうですね。その習慣がこの頃日本にないということはいまも忙しく働いて、これだけ経済が発展したことと裏側のツケといえる。



諸岡 博熊氏

★石油は文明の必需品。コーヒーは文化の必需品

諸岡 コーヒーの消費量は伸びているんですよ。

浅井 その伸びは、ビジネスマンが人に会うたびに飲んで、一日に10杯も飲んだという現実から生まれていますから。これはあまり優雅な消費ではないですね。

諸岡 コーヒーの輸入量は、アメリカが年間約120万ト、ドイツが約70万ト、日本が約32万トで、いまの勢いでいくと21世紀には世界第2位のコーヒー消費国になるだろうと言われています。

浅井 しかし、一方で日本のコーヒーの値段は高いですね。コーヒーを飲むために払っているというより、仕事の話をする場所を借りるためにコーヒーを飲んでいる感じもあります。

諸岡 内装品、土地代、人件費は確かに高いですから。それにコーヒーは先物商品で、ニューヨークとロンドンで毎日相場が立っています。ブラジルに霜が降り、コーヒー農園が全滅に近く、普段120セント前後のものが250セントまではね上がっているのです、この秋にはコーヒーの値段が上がるでしょうね。



浅井 信雄氏

浅井 原料が高くなるからですね。それは採れないというところが一番の原因ですか。

諸岡 採れないことと、コロンビアなどは作務的に出荷停止しています。値段を上げたいんですね。60年代に中南米が社会主義化した時、アメリカの経済政策の一環でコーヒー農園を援助しようとしたことがあった。そのために国際コーヒー機構を作った。石油の場合はOPEC、つまり石油輸出国機構なんです、珈琲の場合は、おもしろいことに、輸出国と輸入国の機構(ICO)なんです。前近代的なシステムで、その代わり高く値段を設定出来るように出荷量をICOが調整した。

浅井 それは輸出国も輸入国も加入する組織を作り、それぞれの利益を追求したわけですね。

諸岡 日本は輸入国という立場で参加していました。値段を高く設定しているのです、南米の外貨の獲得寄与率のうちコーヒーが60%を占め、アフリカは75%まで占めていた。ICOがビンハネをしてその金をコーヒー消費振興事業に使うように日本に回してくるわけです。ところが世界のコーヒーの生産量のうち、ブラジルとコロンビアとインドネシアの3カ国で世界の半分を作っている。

加盟国は実は50カ国もあるんですが、残りの47カ国に割り当てられるのが残り半分なわけです。ところが国としての外貨獲得寄与率は60%以上ですから、豆は増産しているのに出荷できない。そこで社会主義国へ横流しして豆の値段を下げた。そこでアメリカが怒った。社会主義国への感情的な部分もあるし、値段を下げることは結局中小国の首を絞めることだという。中小国の方は三国への割り当てを減らせと主張。しかし、ブラジルは拒否した。結局生産国の中で喧嘩が始まったので、4年前にクォーター制(割り当て)は廃止になった。そのためにニューヨークの相場が50セントを割り、百姓は手取が少なくなりコーヒー農園からの離農、転作が相次ぎました。消費国は品質の良い豆が欲しいのに手に入らない。そこで、アメリカが脱退。どうしようもなくなってコロンビ

アとブラジル、インドネシア3国が中心となって28カ国が加盟するコーヒー生産国連合を作り、お互いに20%ずつ出荷量を押える事をやり始めました。その効果で春先には80セントまで回復したんですが、砂糖に見切りをつけた投機筋の動きで、あつという間に130セントにはね上がり、ブラジルの霜の影響で25セントまで上昇しています。現在200セント前後です。

浅井 その辺のお話を伺っていると石油のOPECの動きとよく似ていますね。両方に世界の経済や政治の思惑が顕著に現われていておもしろいです。しかし、いざとなるとコーヒーは飲まなくても世界の経済は維持できます。しかし、石油は流れてこないとな国が破滅する。そういう深刻度が違います。

諸岡 ですから、石油は文明の必需品、コーヒーは文化の必需品です。

浅井 なるほど。日本ではビジネスの必需品で。

★嗜好品を回し飲みするのは「一味同心」の心

浅井 コーヒーも国によって飲み方がずい分違いますね。種類も違いますが、アイリッシュコーヒーのように甘口でアルコールを入れて飲んだり、トルココーヒーのようにドロツとしたのを飲むとか。やはりそれぞれの国の人間に合う飲み方をするということなのでしょう。

諸岡 コーヒーはアラビア半島のイスラム、いまのイエメンのモスルの中で飲むことから始まった。

浅井 コーヒーという言葉の語源はアラビア語ですからね。

諸岡 ええ、「カファ」です。彼らの飲み方は絨緞の上に車座になって回し飲みをするスタイルです。コーヒー、煙草、酒といった嗜好品は回し飲みが多い。「一味同心」同じ味を楽しむ回し飲みが始まった。イスラムを嫌っていたキリスト教徒がヨーロッパに持ち込む際に、ローマ法王の許しを得て、初めて1615年にヨーロッパにコーヒーが登場するわけです。ヨーロッパでテーブルの上で飲む文化となったから飲み方が変わってきた。

一方ヨーロッパはアフリカに植民地を持っていましたから、植民地の豆を持ってきて、いかにうまく飲むか工夫していったわけです。そこに、ドイツ、フランス、イタリアそれぞれの飲み方が工夫されたのです。

浅井 回し飲みっていうのはなかなかいいものですね、人の輪を現わして。日本人は酒の杯を回しているし、アラブ人は水煙草も回しています。

諸岡 ベドウィンにはホストが粉を漉さずに入れたコーヒーを上から下へ回りに回していきます。

浅井 飲み切って茶碗の底に残ったカスの模様で占いますから、やはりそこにも遊び心、ゆとりがありますね。

諸岡 インドにも似たような傾向があつて、物質文明の発祥の地には精神文明も発達していますね。

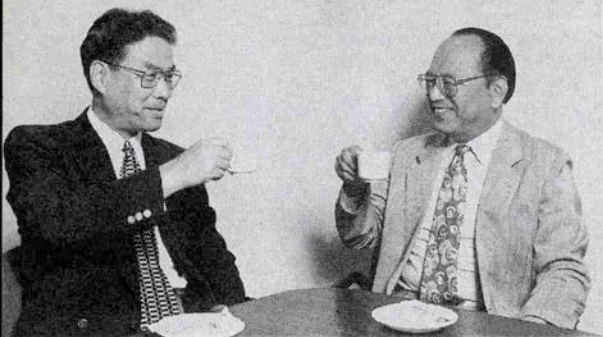
浅井 我々とは時間の観念も全く違いますし。そのあたりでは、「おろか者がせかせかせか働く」といわれます。ゆつたりと過ごすことが最も貴重な時間なんですね。ウイーンにもコーヒーを楽しむ気質を感じます。

諸岡 1683年ウィーンに、トルコ軍が負けて残していったコーヒーからコーヒーハウスができました。で、マリア・テレジアが出たハプスブルグ家が、日本の伊万里焼に憧れてわざわざ釜を作らせています。アメリカの場合は1773年のボストンティーパーティで紅茶を捨ててコーヒー文化が始まっていますから、最初から味の薄いコーヒーが主流ですね。アメリカはおもしろい国で本国の政策に反対して紅茶を捨て、1915年には社会問題から油を禁止し、今や健康上の観点から煙草を廃除している。嗜好品を抹殺する国ですね。

★飲食物は習慣や経験に作用される

浅井 日本のコーヒーに味の変化はあるんですか。

諸岡 長崎に一番初めに入つて、横浜、神戸に入ってきたわけですが、関東と神戸のローストは違うんです。神戸はジャーマンローストで、ドイツ式です。苦味が薄くて酸味がある。関東のフレンチローストは苦みがとても



ほっと一息、コーヒーブレイク。

強い。戦前は圧倒的にジャーマンローストだった神戸もいまは、フルシテイローストになりつつある。シティというのはアメリカ式のローストの仕方、ジャーマン以上に苦味が減って酸味があります。

浅井 トルココーヒーは非常に強いコーヒーです。ところがエジプトに仕事で3年以上住んでいた時、それを飲まないと落ち着かないんですね。インドにいますと、あの辛いカレーを食べずにはおられないように、やはり気候、風土が作用してその土地に必要な味を作り出すんですよ。

諸岡 コーヒーには若干ですがストレスを解消する作用がありますから、新聞記者の頃はよく飲まれましたですよ。

浅井 人に会って話をしていて、言葉の継ぎ穂がなくなってきた、コーヒーを飲んだり煙草を吸いながら考えるということはよくありましたね。ですから新聞記者をやっている時には煙草をやめられませんでした。好きで吸ってたんではなくて、仕事のために吸うという優雅とは言えない状態でしたね(笑)。

諸岡 まだまだコーヒーは苦いという意識の人が多いんです。コーヒーは酸味の文化なんです。おいしい、上品な酸味を口の中で味わって欲しいんです。苦いのは飲んでさわやかにパツと消えますから。香りと上品な酸味、そして後味を味わっていたきたいのです。

ところが日本人は酸味が弱い。寿司飯でも砂糖などの隠し味で酢を旨味に変えてしまっている。ワインのような酸味の文化が伸びないんです。

浅井 日本でもいつの頃からか、コーヒーをアメリカンといつて注文する人が増えてきましたね。

諸岡 それは60年代の世界的にも荒れた時代に、アメリカの若者がベトナム帰りの問題や、社会主義的運動をやっている時に、コーラなど炭酸系の飲料が発売され、それらの爆発的な売れ行きに対抗して、テイクアウトのコーヒーの値段もどんどん下がっていった。そうするとどうしても豆の量を減らさざるを得ない。それが逆に安くて、薄くて、飲みやすいということにもつながった。その頃が、ちょうど日本人がアメリカへ行き始めた時期でもあって、薄いコーヒーの味を覚えてこれが本場アメリカのコーヒーだと思い込んだ。しかもお湯で割っているというデマまで飛びかった。本当はコロンビアのスプレモという上等の豆を浅く焙煎して出す。酸味が強いから薄く感じるんですね。大阪の有名なホテルでもお客さんの注文があるからと、アメリカンを頼むとコーヒーとお湯のポットを一緒に出していたんですよ。コーヒーはお湯で割るもの、それが本場のアメリカンだと勘違いをしたわけですよ。

浅井 そうなんですか。コーヒーも改めてお話を伺うと、国によって濃さや入れ方にもバラエティがあることがよくわかりました。画一でないところが楽しさでもあるんでしょうね。

諸岡 食べ物、飲み物はやはり経験や習慣に大きく作用されます。一番自分が慣れているものがおいしいんですよ。私は子供の頃からコーヒーを買いにお使いに行っていましたから、やはりとても馴染みがあります。経験してみるのは楽しいですね。

浅井 実は、言おうかどうか迷っていたんですが、私は日本茶が一番好きなんです(笑)。日本茶と羊羹が一番落ち着きます。(笑)

／兵庫倶楽部にて／